

## 学位論文審査基準

### 【材料】

先進工学研究科 マテリアル創成工学専攻

項目	課程/論文	基準
主論文を構成する論文の条件	課程博士	Referee 付論文 2 編以上 うち 1 編は、申請者が原則として First Author であり full-length paper であること。 上記論文は「掲載決定」でもよい。
	論文博士	Referee 付論文 4 編以上 うち 2 編は、申請者が原則として First Author であり full-length paper であること。 上記論文 4 編中 1 編は、「掲載決定」でもよい。
博士学位にふさわしい学力確認の基準(学位論文の内容に係る審査条件)	課程博士	論文内容に関するプレゼンテーションおよび質疑応答を通して、きわめて高度な専門知識や研究能力を審査する。その際に、化学・化学工学・材料科学の発展に資する高度な研究が行われていること、研究内容が独創的であることを確認する。また、それに関連する基礎的な学力・学識も確認する。
	論文博士	
国際化に対応する研究者としての能力確認の基準	課程博士	英文論文の執筆、および英語での学術的コミュニケーションがとれる能力を有すること。これを評価する基準として、主論文を構成する論文のうち、国際的な学術雑誌に、英文原著論文を 1 報以上発表すること。さらに、国際学会等での発表、海外との共同研究実績などを総合的に評価する。
	論文博士	
在学期間短縮に係る基準	課程博士	優れた業績を上げたと認められ、かつ (1)論文博士に適用される基準を満たしていること。 (2)当該学生の指導教員より研究科長宛理由書を提出し、研究科委員会(博士)における予備審査以前に、研究科幹事会において事前の業績審査を行いそれに合格すること。